競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

- ・本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項（大会要項・競技注意事項）により実施する。

2 受付について

- ・場所は正面入口前にて7時15分から、以下の通りに行う。

【小、中学校】

- ・各学校代表者が受付をすること。
- ・監督会議を7時45分から行うので、各学校代表者は正面入口に集合すること。

○配布物

- ①プログラム、連絡事項等
- ②アスリートビブス（ナンバーカード） ※返却は各自で行う
- ③学校職員AD（6名分） ※保護者へのADカードの配布は行わない。
- ・プログラムの訂正（氏名、フリガナ、学年、所属等）や欠場がある場合は、T I Cにあるプログラム訂正用紙（学校には事前配布）に記入し、8時15分までにT I Cに提出すること。
- ・リレーに出場するチームは、T I Cにあるリレーオーダー用紙を受け取ること。

【高校生以上】

- ・受付時にアスリートビブス（選手のみ）、プログラムを受け取ること。
- ・プログラムの訂正（氏名、フリガナ、学年、所属等）がある場合は、T I Cにあるプログラム訂正用紙に記入し、競技開始1時間前までにT I Cに提出すること。

【共通】

- ・競技終了後は、アスリートビブス（ナンバーカード）をT I C近くの専用の回収箱に入れること。
- ・腰ナンバーカードは各自持ち帰ること。

3 会場について

- ・会場の混雑解消や熱中症予防の観点から、競技ごとに集合時間を設けることが望ましい。
- ・選手とADカードの発行を受けた者以外はトラックに入ることができない。
- ・諏訪市、富士見町の学校待機エリアを指定する。（会場図参照）学校ごとの区分けはしないので、譲り合って使用すること。
- ・競技者のビデオ及び写真撮影について、許可書の発行はしないが、盗撮防止の観点から、自校・チーム、関係競技者のみを撮影対象とし、競技に支障のない場所（トラック内は不可）で行うこと。但し、競技役員から撮影場所の変更・移動・中止等の指示があった場合にはそれに従うこと。また、不審な撮影（写真・動画）をしている人を見かけた場合、T I Cまで連絡すること。

4 ウォーミングアップについて

- ・選手の安全と場内のコントロールのため、学校職員の引率の下で、競技場内でのウォーミングアップを行うことができる。
- ・選手及び学校職員（ADカード着用）は、100mスタート側の出入口から入退場すること。
- ・芝生内は、各学校で譲り合って利用する。トラックを練習で使う際は、競技をしている選手の妨げにならないようにして使用すること。
- ・走路保護のため、練習では1，2レーンは使用しない。
- ・流し、ダッシュはトラック進行方向に合わせ、逆走をしないこと。トラックを横断する時は、周囲の安全確認をし、最短距離で行うこと。
- ・競技場内でのウォーミングアップについては以下の通りとするが、競技役員からの指示があった場合は、それに従うこと。

時間	ウォーミングアップ可能場所 ※バックスタンド裏ウッドチップコースは常時使用可能
～8：45	○トラック・トラック内側：全体使用可能
8：45～	○トラック：バックストレート ※ただし、1500m、1000mの競技中はトラック使用不可 ○トラック内側：走高跳ピット、芝生（バックストレート側半分）
11：30～	○トラック：バックストレート ※トラック内側は使用不可

5 招集について

- ・招集は、100mスタート側出入口付近の器具庫前の招集所にて行う。スタート地点での招集ではないので注意すること。
- ・招集開始時刻、招集完了時刻は競技日程記載の通りとする。
- ・本人が必ず招集を受けること。
- ・招集では、アスリートビブス（ナンバーカード）、腰ナンバーカード、シューズ、スパイクピンのチェックを行う。
- ・60m、1000m、1500m、小学生100mおよび小学男女混合リレーのアンカーについては、招集の前に腰ナンバーカード（シールタイプ）を配布する。パンツ右側の上部やや後ろに貼りつけること。（腰ナンバーカードを受け取って招集完了ではないので注意すること）
- ・リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出し、その後招集完了時刻までに招集所で招集も完了すること。オーダー用紙提出後のオーダー変更は、招集完了時刻1時間前であってもできない。（傷病発生時に大会医務員が確認し、大会総務が認めた場合のみ変更可能）
- ・リレーチームの編成メンバーは、本競技会のリレー以外の種目にエントリーしている競技者も出場することができる。ただし、リレーに出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーにエントリーした競技者でなければならない。

6 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ・アスリートビブスはそのままの大ききで胸と背部に確実に固定すること。ただし、走幅跳に関しては、胸または背部のいずれか1枚つけるだけでも良い。（安全ピン：8本は各自持参すること。）

7 競技方法について

(1)トラック競技

- ・トラック競技はタイムレース決勝とする。なお、同じ組または総合3位以内に同タイムがあった場合、1/1000秒の判定を行う。(例：13秒20→13秒194)
- ・スタートの合図は、60mは「位置について・用意」とし、他の種目は英語「On your marks (・Set)」で行う。
- ・危険防止のため短距離種目では、フィニッシュライン通過後も必ず自分の割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。また、例年、スタート後に別レーンに侵入する事例が多くあるため、自分のレーンを間違えずに走ることの徹底をお願いする。
- ・スタートはクラウチングスタートを原則とする。ただし、60mについては、スタンディングスタートとし、スターティングブロックは使用しない。小学生の100mについては、スターティングブロックを使用してもしなくてもよく、スタンディングスタートでもよい。
- ・小学生は、1人2回の不正スタートで失格とするが、オープン扱いでその組での出走は認めることもある。中学生以上は、不正スタートの責任を有する競技者は1回で失格とする。

(2)フィールド競技

- ・フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ・小学生のフィールド競技(走幅跳・ジャベリックボール投)の試技回数は3回とする。
- ・フィールド競技の試技順はプログラム記載順とし、競技運営の都合上、4回目以降の試技も同様とする。

(3)共通事項

- ・中学生以上は、日本陸上競技連盟競技規則(TR5：競技用靴)のルールを適用する。ただし、規格外シューズで競技を行う場合でも、オープン扱いでその組での出場は認めるが、表彰等の対象外とする。
- ・競技場は全天候舗装であるので、使用するスパイクピンは平行ピンで9mmを超えてはならない。なお、オールウェザー用スパイクの固定ピンは使用してもよい。

8 表彰について

- ・各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。正面入口前にて賞状を受け取ること。
- ・リレーのみ、競技終了30分後を目安に、正面入口前にて表彰式を行う。
- ・小学生は全選手に記録証を授与し、後日各学校へ届ける。

9 その他

- ・競技結果は場内放送、掲示及び長野陸協 DATA WEB の競技会結果ページへ掲載する。
- ・気象状況や熱中症対策のため、競技を一時中断または中止することがある。
- ・感染症対策、熱中症予防の観点から、体調が優れない場合は無理をして参加しないこと。また、感染症に罹患した場合や学級閉鎖等になった場合は、医師や学校の指示に従うこと。
- ・適度な水分補給と休憩で熱中症予防を心がけること。
- ・選手、大会関係者以外へのプログラムの配布および販売は行わない。
- ・ゴミは各自持ち帰ること。
- ・駐車場については、別紙案内を参照し、必ず指定の場所を利用すること。